

The 2nd Workshop on Hydrosience and Engineering in Kyushu
第2回九州圏水工学研究会 (Final Ver.)

2025年9月1日(月)-2日(火) 福岡
Sep. 1-2, 2025, Fukuoka

会場 Venue

九州大学西新プラザ Nishijin Plaza, Kyushu Univ.
(福岡市早良区西新 2-16-23, Nishijin 2-16-23, Sawara-ku, Fukuoka)
<https://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/>



主催 九州大学大学院工学研究院環境流体力学研究室
Organized by Environmental Fluid Mechanics Labo, Kyushu Univ.

プログラム Program

■9月1日(月) Sep.1(Mon.)

13:00-13:30 受付 1階入り口付近

※以下、特別講演と口頭発表は2階大会議室で行います。

13:30-13:40 開会あいさつ、趣旨説明 矢野真一郎(九州大学)

13:45-15:15 Poster Session 1F 展示コーナー

※教職員(研究員も含む)は活発な討議と、学生の優秀講演者の推薦(**スマホで行います**)をお願いします。
評価については別紙参照。

※発表者は遅刻しない様、余裕を持って来場お願いいたします。

15:25-16:50 特別講演 Special Lectures [進行:矢野真一郎(九州大学)]

(1) 入江政安(大阪大学教授) 「テータ同化の2,3の事例」

(2) 小林健一郎(埼玉大学教授) 「ただひたすら浅水流方程式と富岳・京でどこまでできたか？」

※発表 25分, 質疑 10分

17:00-17:50 口頭発表(1) Oral Presentations Session 1 [進行:押川英夫(佐賀大学)]

※発表 20分程度, 質疑 5分程度を目安とします。

1. 赤松良久(山口大学) 「(仮題)流域の水動態を可視化する環境DNAトレーサーの開発」

2. 中川啓(長崎大学) 「大村湾底質におけるPFASの鉛直分布について」

※会場で集合写真を撮ります。

18:30- 懇親会 Party 会場:居酒屋ひなたぼっこ (西新 1-8-10;会場から徒歩 5分程度です)

(2時間程度:参加予定者数 45名) URL: <https://hinata-sora.com/>

参加費:教職員 6000円, 学生 4500円 (飲み放題付きです。)

■9月2日(火) Sep.2(Tue.)

09:00-10:20 口頭発表(2) Oral Presentations Session2 [進行:張浩(熊本大学)]

3. HAO LIN(九州大学) 「Assessing the Impact of Flood Events on Seasonal Hypoxia Using d4PDF Database in the Ariake Sea, Japan」
4. 浅田寛喜(熊本大学) 「阿蘇地域における気候変動に伴う雨量強度の増加と草原減少が斜面崩壊リスクに与える影響の解明:斜面崩壊の空間・規模の統合分析」
5. 渡部哲史(九州大学) 「バイアス処理済み気候予測データセットの整備(仮)」

10:30-12:00 口頭発表(3) Oral Presentations Session 3 [進行:丸谷靖幸(九州大学)]

6. 瀬戸心太(長崎大学) 「降水の衛星観測と地上検証」
7. 林義晃(福岡大学) 「各種降水量データの特性とその利用方法について」
8. 巖島怜(九州大学) 「長期間の地形形成要因が洪水氾濫に及ぼす影響(仮)」

12:00-12:20 学生表彰・閉会式・解散

+++++

12:25-13:30 運営会議(有志のみ:参加予定者数 15 名:昼食代 1000 円) 場所:3F 和室

14:00-17:00 水工学委員会グローバル小委員会主催 渇水 WG(有志のみ:参加予定者数 10 名)
場所:2F 中会議室

注意事項:

※ポスターセッションで発表される方は、受付後速やかにポスターを自分の場所(パネルに発表番号を示しています)に貼ってください。また、セッション終了後に速やかに撤去ください。終了後すぐにパネルを片付けます。

※ポスターの大きさは、パネルの大きさ(縦 175cm×横 120cm)以内としてください。パネルには押しピンで貼って頂きます。ピンはこちらで準備しておきます。

1. 会場の会議室内の飲食は禁止されています。
2. 講演中は携帯電話をマナーモードにしてください。
3. 受付時に、懇親会費と 2 日目の昼食代を集金しますので、ご準備ください。できるだけ釣り銭のないようお願いいたします。

Poster Session Program:

場所:1 階展示コーナー

※発表者は番号の場所にポスターをセッション開始前までに貼ってください。

また、セッション終了後に速やかに剥がしてください。

パネルの返却に関係で、お手数ですがご協力お願いいたします。

- P01 加藤聖也 長崎大学 令和元年台風 19 号における荒川第一調節池の治水効果に関する研究
- P02 若宮千武 長崎大学 PLATEAU を用いた粒子法による河川氾濫解析
- P03 木原 凜 山口大学 湾曲水路の横越流における曲率半径と流出角度の関係に関する実験的研究
- P04 Placido Varela Mau Yamaguchi University Evaluation of Urban Drainage System and Estimate
the Flood Inundation and Risk Map using PCSWMM In Kampung Alor Dili Timor-Leste
- P05 弘中勇駿 山口大学 自己組織化マップを用いた九州地方の線状降水帯の分析と診断モデル
- P06 李 卓霖 長崎大学 地下水の硝酸性窒素の汚染原因の評価
- P07 高井佑豪 佐賀大学 筑後川における水温の長期変化に関する研究
- P08 宮 嘉良 熊本大学 日本のダム堆砂量の影響要因分析
- P09 十河佑宇 九州工業大学 流束差分法を用いた土石流1次元解析モデルの構築と抵抗則の比較
- P10 山西威毅 九州工業大学 越流破堤の1次元非静水圧・非平衡河床変動解析モデルの構築
- P11 早田圭吾 九州大学 d4PDF(5km 格子)を用いた九州地方のダムにおける気候変動影響
- P12 柴内有人 九州工業大学 水位を与条件とした越流・破堤実験の平面2次元解析
- P13 福丸大智 山口大学 地表水と地下水を統合した流域水・熱収支一体解析モデルの開発
- P14 中村遼音 山口大学 HiPO ブロックを導入した RNN による河川水位予測モデルに関する基礎的検討
- P15 三宅 利 熊本大学 南アジアにおけるネイチャーポジティブ治水技術の評価と改良に関する研究
- P16 欠番**
- P17 眞田 藍 九州大学 気候変動による河川流量の変化が有明海の貧酸素水塊の消長に与える影響
に関する数値解析的検討
- P18 照屋智理 熊本大学 土質試験データおよび経験的物性値情報を用いたボーリングデータにおける
土質分類の信頼性評価
- P19 欠番**
- P20 花岡拓身 山口大学 土砂還元の影響評価に向けた水生生物の生物量予測モデルの基礎的検討
- P21 川口琳太郎 熊本大学 緑川流域における外来魚類の分布と在来種に及ぼす影響評価
- P22 関 愛佳 佐賀大学 嘉瀬川流域を基にした直列配置された2基のダムの治水能力に関する研究
- P23 原田 祥 熊本大学 球磨川人吉盆地流下区間におけるタイプ別の瀬淵構造の特徴と支川流入が与える影響
- P24 永田光一 熊本大学 Grid ベースの解析が示す Realization データ選定への依存性と予測のばらつき
- P25 XU JIE 熊本大学 A Physical Model-Based Approach to Urban Flood Disaster Education
for Disaster Risk Reduction
- P26 大内憲人※ 熊本県立大学 CFD を用いたスリット型流速計の流体解析

※大内先生は学生ではないので評価対象外とします。

採点に関して:教職員のみ:15:20 までに入力ください!

下記 URL (または右の QR コード) の Form に入力ください。

<https://forms.gle/ybEdmPMQaexNmuy89>

